仕　様　書

カトウ全油圧式オールテレーンクレーン

KA-1300R

キャリヤ : カトウ KA5160

スーパーラフィング (SL) ジブ仕様

■クレーン部主要諸元

1. 名　　称	130t吊りオールテレーンクレーン	
2. 型　　式	KA-1300R	
3. クレーン性能		
最大定格総荷重		
・ブーム	11.8 mブーム	130,000kg × 2.5m (19本掛)
	19.8 mブーム	50,000kg × 7.0m (7 本掛)
	27.88mブーム	35,000kg × 9.0m (5 本掛)
	35.9 mブーム	24,000kg × 10.0m (4 本掛)
	44.0 mブーム	17,000kg × 12.0m (4 本掛)
	48.0 mブーム	14,000kg × 16.0m (4 本掛)
	52.0 mブーム	12,000kg × 18.0m (4 本掛)
・スーパーラフィングジブ (SL)	9.2 mSLジブ	7,000kg × 18.0m (1 本掛)
	15.0 mSLジブ	4,000kg × 28.0m (1 本掛)
	20.8 mSLジブ	3,750kg × 20.0m (1 本掛)
	26.6 mSLジブ	2,200kg × 26.0m (1 本掛)
・ルースタシーブ		7,800kg (1 本掛)
ブーム長さ	11.8m ～ 52.0m	
SLジブ長さ	9.2m ～ 26.6m	
最大地上揚程	53.1m (ブーム)	
	79.6m (SLジブ)	
巻上ロープ速度	主巻	115m/min (4層目)
	補巻	115m/min (4層目)
	*高速巻下げ (主・補)	170m/min (4層目) 無負荷参考値
巻上フック速度	主フック (ロープ掛数 19)	6m/min(4層目)
	補フック (ロープ掛数 1)	115m/min(4層目)
ブーム起伏範囲	−1.8°～ 85°	
ブーム上げ時間	70s/−1.8°～ 85°	
ブーム伸長速度	40.2m/158s	
旋回速度	高速: $1.8min^{-1}$　低速: $0.95min^{-1}$	
旋回後端半径	3,280mm (カウンタウエイト無)	
	3,890mm (カウンタウエイト 8.5t)	
	4,100mm (カウンタウエイト 16t, 24t)	

4. 上部旋回体の装置及び構造

ブーム形式	箱型6段油圧伸縮式 (2･3段同時、4･5･6段同時)
ブーム伸縮装置	油圧シリンダ (3本) 及びワイヤロープ併用式
ブーム起伏装置	油圧シリンダ2本直押式
SLジブ形式	箱形4段油圧伸縮式 (2･3･4段同時)
SLジブ伸縮装置	油圧シリンダ及びワイヤロープ併用式
SLジブ起伏装置	油圧シリンダ直押式
巻上装置	シングルウインチ2基、 油圧モータ駆動・減速機一体型 (ディスクブレーキ内蔵式)、 高低速切換式、自動ブレーキ付、圧力補償付流量調整弁付
旋回装置	油圧モータ駆動・遊星歯車減速機付 (ネガティブブレーキ内蔵)×2 フリー・ロック切換式、高低速切換式
旋回サークル	ボールベアリング式、上下分割式
カウンタウエイト	24t・16t・8.5t、自動着脱式
アウトリガ装置	形式　　全油圧H型2段式 最大張出幅　8,400mm 中間張出幅　7,400mm　6,400mm　5,400mm　4,400mm 最小張出幅　3,400mm
ワイヤロープ	(主巻)　φ20×280m (補巻)　φ20×170m

5. クレーン用エンジン

エンジン名称	ベンツ　OM906LA (Stage3A)
エンジン形式	水冷4サイクル直接噴射式直列6気筒　電子制御ディーゼルエンジン (インタークーラーターボ付)
総排気量	6.37L
最高出力	150kW/2,200min^{-1}
最大トルク	750N･m/1,200min^{-1}
電気システム	24V
バッテリ	115F51×2
燃料タンク容量	250L

6. 油圧装置

オイルポンプ	2連可変プランジャ型＋ギヤ型＋ギヤ型
オイルモータ	巻上用　アキシャルプランジャ型 旋回用　アキシャルプランジャ型
コントロールバルブ	マルチプル自動復元式（圧力補償付流量調整弁付）
シリンダ	ダブルアクティング式
オイルリザーバ	1,115L

7. 安全装置	ACS（過負荷防止装置・音声警報装置付）、作業範囲制限装置、 アウトリガ張出幅自動検出装置、ブーム自然降下防止装置、過巻防止装置、 ドラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置、乱巻防止装置、 アウトリガロック装置、旋回ロック装置、旋回ブレーキ装置、油圧安全弁、 サイドミラー、ドラム回転指示装置、エンジントラブル警告装置、 作動油フィルタ目づまり警報装置、作動油オーバーヒート警報装置、 ACS外部表示装置、旋回音声警報、スタンション、旋回警告灯
8. 標準装置	ブーム・旋回体着脱装置、オイルクーラ、エアコンディショナ、 アクセサリソケット（24V）、ステップランプ、時計付AM/FMラジオ、 フロアカーペット、ロール式サンバイザー、ラバーマウント式キャブ、 キャブチルト装置、作業灯、リモコンサーチライト、ウインチ確認カメラ、 消火器、拡声器、分解輪ランプ（作業用）、風速計、 間欠付フロント&天井ワイパー（ウォッシャー付）、 パワーウインドウ（閉め忘れ防止スイッチ付）
9. オプション装置	ドアバイザ、ランチテーブル、左後方確認カメラ、分解用ワイヤロープ

■キャリヤ部主要諸元

1. 車名及び型式		カトウ　KA5160
2. 走行性能（台車のみ）		
最高速度		75km/h
登坂能力		0.60（tanθ）
最小回転半径		10.4m
3. 寸法・重量（台車のみ）		
全　　長		13,230mm
全　　幅		2,990mm
全　　高		2,750mm
軸　　距		2,750＋1,650＋1,850＋1,650=7,900mm
輪　　距	全　輪	2,500mm
乗車定員		2人
車両総重量	全重量	36,620kg
	前軸重	17,360kg（1軸＋2軸）
	後軸重	19,260kg（3軸＋4軸＋5軸）
4. 寸法（構内走行姿勢）		
全　　長		14,565mm
全　　幅		2,990mm
全　　高		4,000mm
5. エンジン		
名　　称		ベンツ　OM502LA（EUROⅢ）
形　　式		水冷4サイクル直接噴射式V8　電子制御ディーゼルエンジン（インタークーラーターボ付）
総排気量		15.927L
最高出力		390kW/1,800min^{-1}
最大トルク		2,400N·m/1,080min^{-1}

6. 下部走行体の装置及び構造

走行駆動形式		6輪駆動 (10×6)、8輪駆動 (10×8) 切換式
トルクコンバータ形式		3要素1段 (自動ロックアップクラッチ付)
変速機形式		フルオートマチック (流体式リターダ付)
変速段数		前進5段　後退1段 副変速機 (High—Low切換付)
車軸形式		
前軸	第1軸	全浮動式 (ドライブ　ステア、減速機、デフロック付)
	第2軸	全浮動式 (ドライブ　ステア、減速機、デフロック付)
後軸	第3軸	逆エリオット式 (ステア)
	第4軸	全浮動式 (ドライブ　ステア、減速機、デフロック、インターアクスルデフロック付)
	第5軸	全浮動式 (ドライブ　ステア、減速機、デフロック付)
懸架装置		ハイドロニューマチックサスペンション (サスペンションロック機構付)
ブレーキ装置		
主ブレーキ		2系統空気式全輪制動
駐車ブレーキ		空気式車輪制動形スプリングブレーキ (2,3,4,5軸)
補助ブレーキ		エンジンブレーキ (圧縮ブレーキ) 排気ブレーキ、流体式リターダ
非常ブレーキ		駐車ブレーキと兼用
ステアリング装置　形式		セミインテグラル式パワーステアリング 非常用パワーステアリング付
一般走行モード		1,2,3軸-同位相操向 4,5軸-逆位相操向
作業モード		前1,2軸、後3,4,5軸、前後輪独立操向モード、 カウンタモード、クラブモード (リヤステ自動中立制御機構付)
タイヤサイズ　全輪		445/95　R25　177E　ROAD
電気システム		24V
バッテリ		145G51×2
燃料タンク容量		500L

7. 安全装置　緊急用かじ取装置、オーバーラン警報装置、3点式シートベルト、サスペンションロック装置、電動式サイドミラー、警告反射板、エンジン電子制御装置、トランスミッション電子制御装置、ラジエター液面警報装置、ローエアー警報装置、後方確認カメラ、ブレーキパッド残量警報装置、ブレーキランプ・スモールランプ断線警報装置

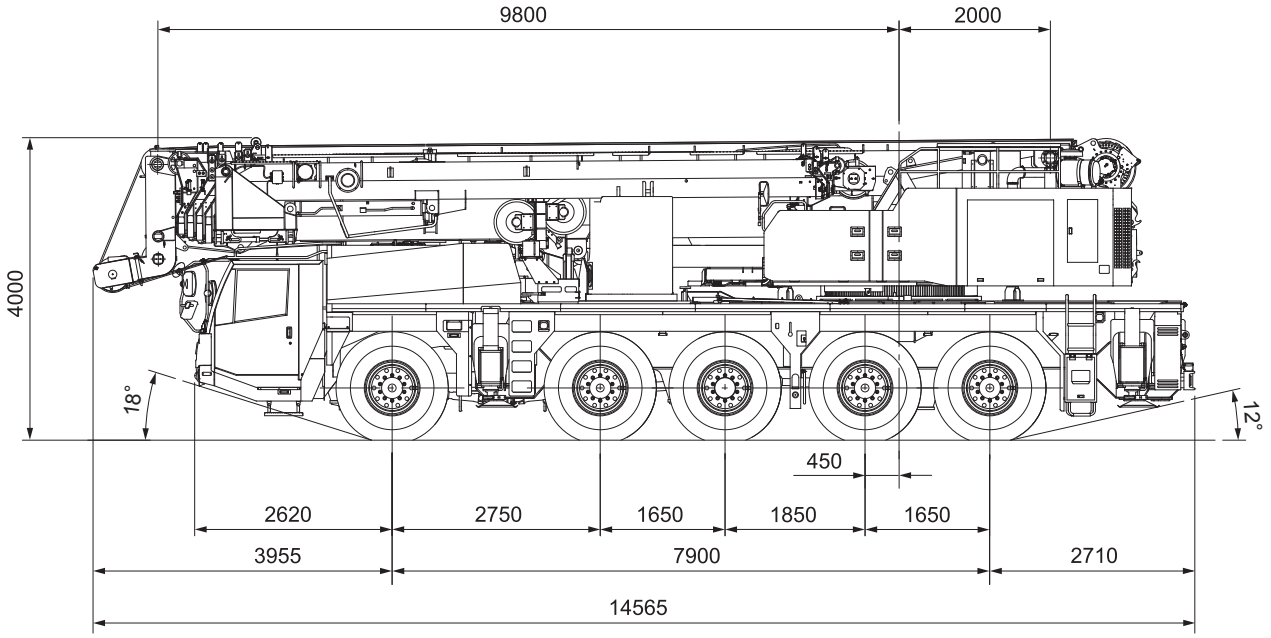
8. 標準装置	チルト/テレスコピックステアリングホイール、 サスペンション付マルチアジャスタブルシート、 ディスチャージヘッドランプ (ロービーム)、エアコンディショナ、 パワーウインドウ、タコグラフ、サンバイザー、集中給脂装置、 エアドライヤ、AM/FMラジオ、前後牽引フック
9. オプション装置	地上デジタル対応テレビ放送受信装置、燃焼式エアヒータ

※本仕様は、改良などにより予告なく変更する事があります。

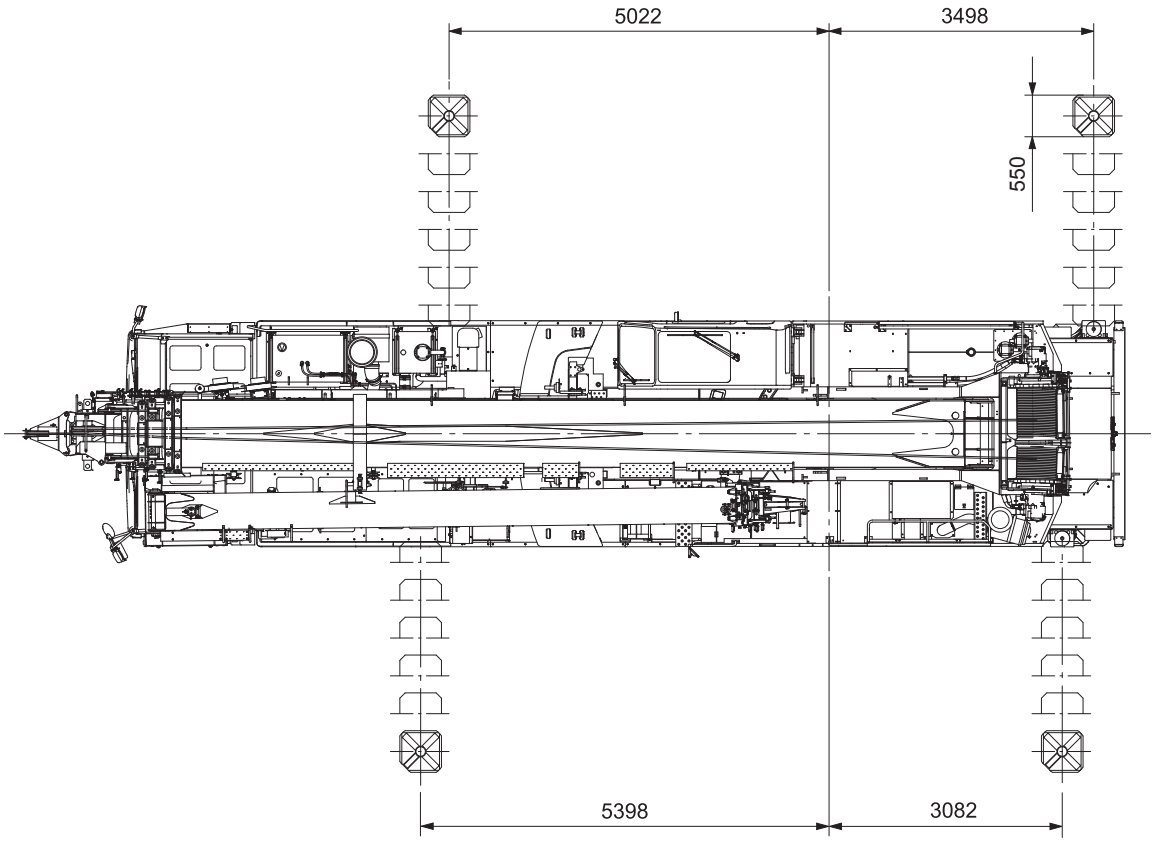
【注意】

1. 本機は、公道を走行する場合には、旋回体、ブーム、ジブ、カウンタウエイトおよびフックを別送し、台車のみで走行しなければなりません。
2. 道路の通行には、道路法による通行の許可と道路運送車両法による保安基準の緩和が必要です。
3. 本機は､新規開発車両証明制度による適合証明書「基本通行条件 重量: C~D」の交付を受けていますが、実際の通行条件は運行経路ごとの道路管理者の算定結果によって付与されます。
4. 構内を移動する場合に限り､構内走行姿勢図のような状態で移動できます。(カウンタウエイト16t搭載)
   ただし、走行速度は30km/h以下で走行してください。
   止むを得ず、カウンタウエイト24tを搭載したまま移動する場合は、カウンタウエイトの車幅からの飛び出しに注意し、走行速度は10km/h以下で走行してください。

■全体図

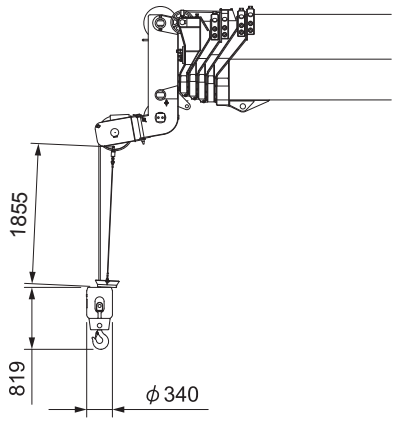


※構内走行姿勢図
(16tカウンターウエイト装着時)

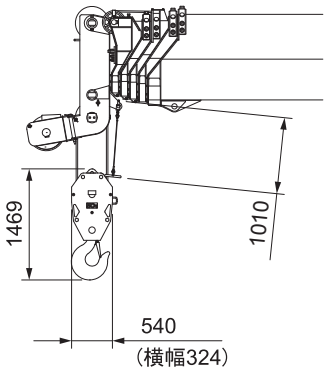


縮尺：$\frac{1}{100}$　単位(mm)

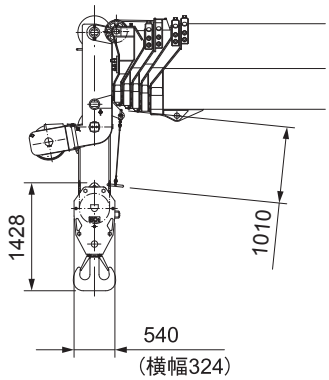
■全体図



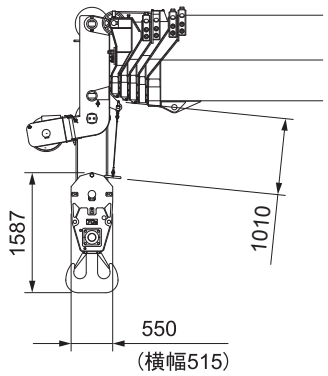
7.8tonフック



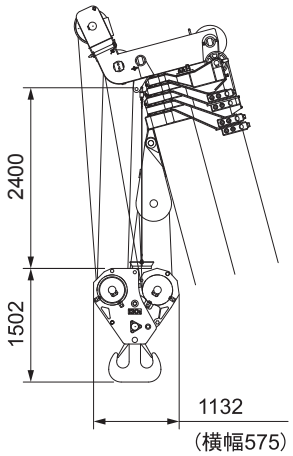
50tonフック



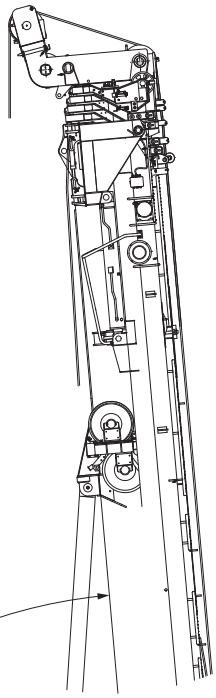
50tonフック
(オプション)

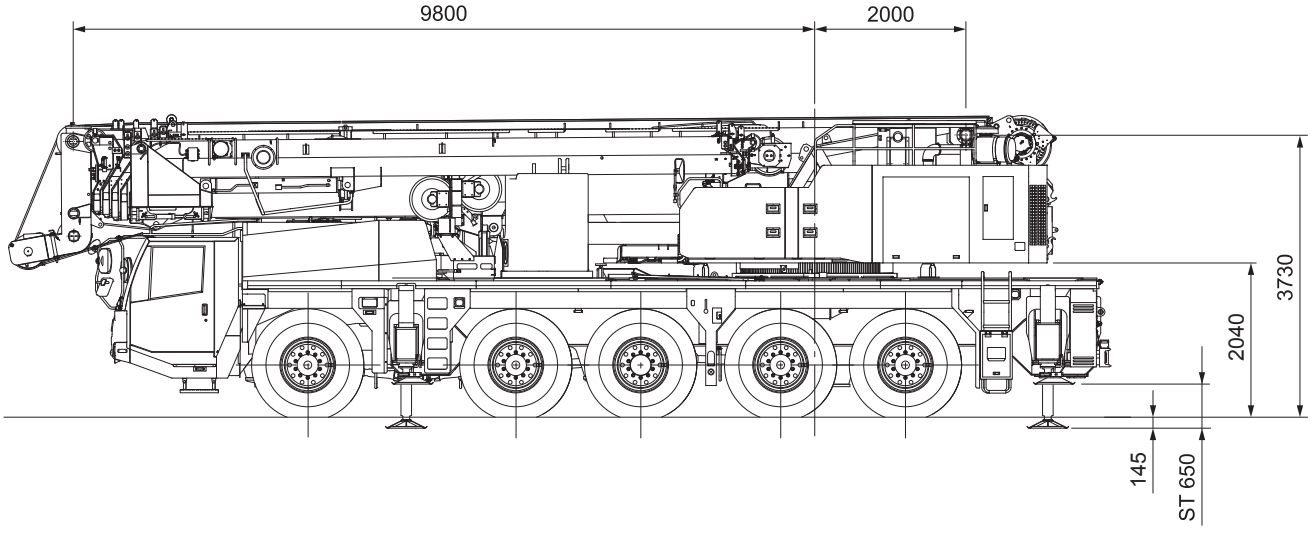


70tonフック



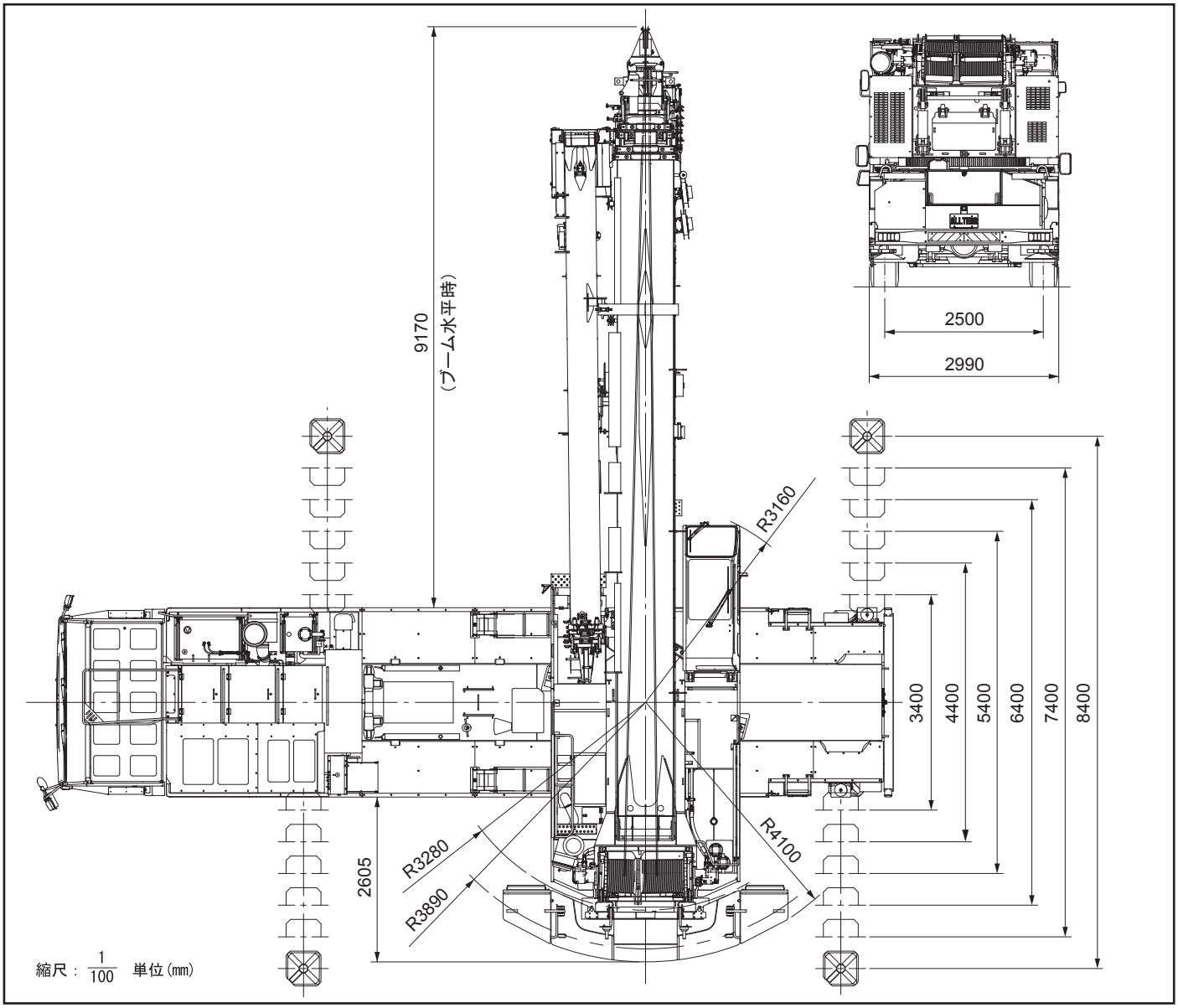
130tonフック



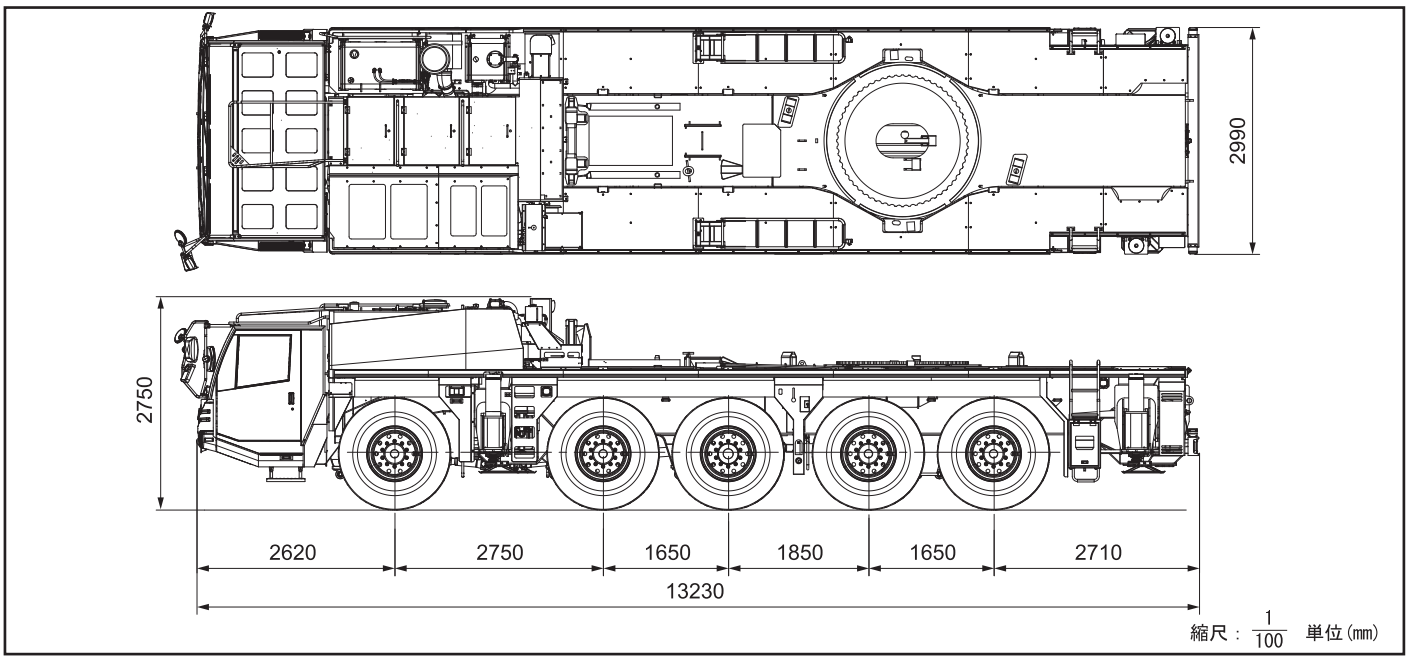


縮尺：$\frac{1}{100}$　単位(mm)

■全体図



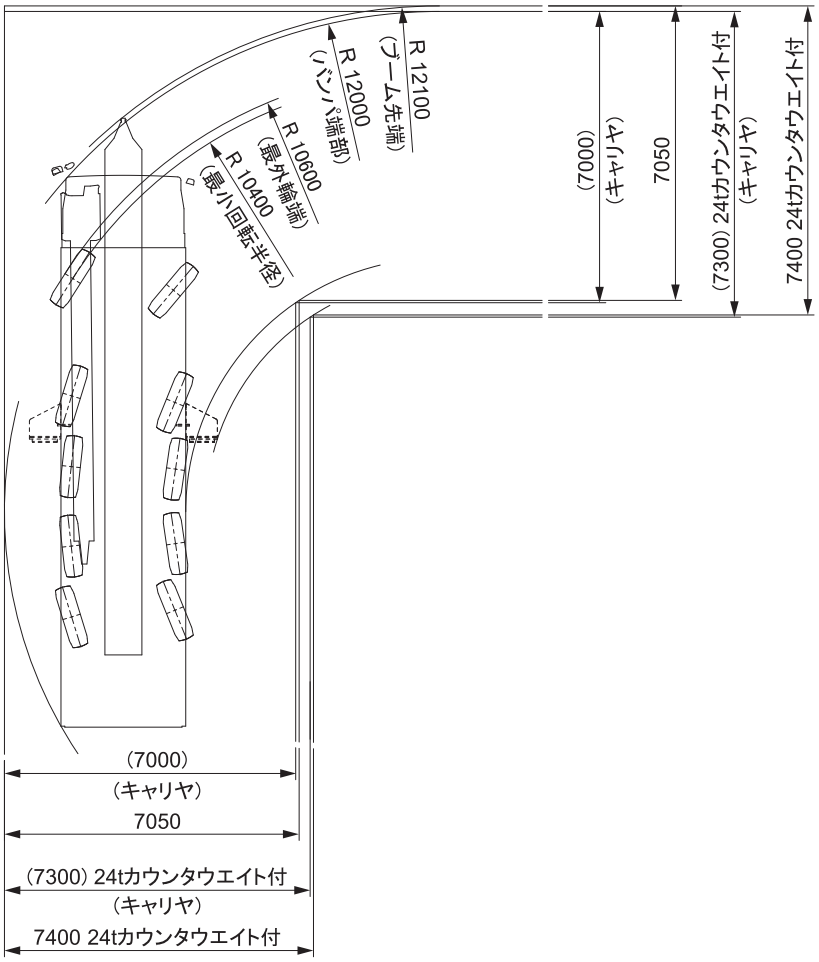
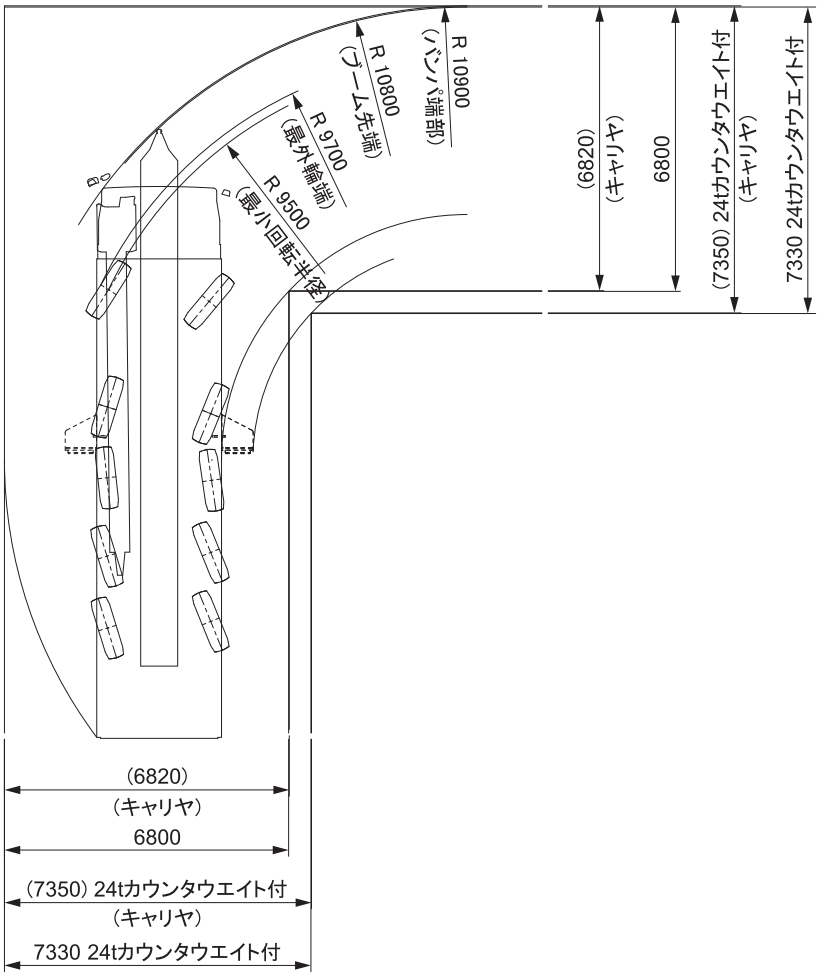
■公道走行状態



※本機は公道を走行する場合、車両制限令により旋回体及びブームを別送し、台車のみで走行しなければなりません。

■ジブ付最小直角通路幅

●構内走行時



●構内走行時（特殊操舵）